

2007ドリームランキング

# 高校生のなりたい職業ランキング

(2007年5月発表)

～希望する職業とその背景を考察する～  
「職業ランキング」「しごと系統ランキング」付き

## CONTENTS

調査概要など

■アンケート集計結果・Part1

- 回答者属性
- 興味を持った学習系統

■アンケート集計結果・Part2

- (1) 「職業ランキング」
- (2) 「しごと系統ランキング」とは
- (3) 「しごと系統ランキング」順位ごとの解説

株式会社 日本ドリコム

## はじめに

この報告書は、高校生が将来やりたい、やってみたいと思っている仕事・職業について、弊社情報誌『ドリコムニュース高校生 進路研究ブック』（2005年12月発行）と『ドリコムプレス2007 進路研究ブック』（2006年12月発行）で行ったアンケート調査の結果をまとめたものです。

ここ数年、高校生の進路は多様化しています。また大学が入りやすくなったと言われる反面、キャリア教育の導入など高校生の学習環境も時代に応じて変化を遂げています。

一方、高校生を取り巻く社会には、不登校生徒やいじめ問題の増加、青少年による悪質犯罪の増加など、不安定な要素が多く存在しています。

このような社会背景は、高校生が抱く進路希望や将来の夢に影響するものです。そして、それが高校生の持つ仕事観・職業観にどのように反映されるのか。日本ドリコムでは、一定年間隔で高校生の仕事観・職業観を調査してきました。

今の高校生が自分の進路をどう捉え、仕事や職業についてどのような意識を持っているのか。この報告書が、高校生が考えること・望むことを理解するうえでの一助になれば幸いです。

2007年 5月

株式会社日本ドリコム

## 調査概要

高校2年生を対象に、弊社発行の進学情報誌でアンケートを行った。希望する職業、その理由などを質問した。

### 調査時期と誌名

2005年と2006年の2年分を調査。調査時期と誌名は次の通り。

2005年：同年12月に発行『ドリコムニュース高校生 進路研究ブック』

2006年：同年12月に発行『ドリコムプレス2007 進路研究ブック』

### 集計結果の留意点

- 進学情報誌の読者という、特定の高校生を対象に実施したアンケートである。
- プレゼントを付けて公募したアンケート結果である。
- 希望する職業とその理由を回答。具体的な職業名が思いつかない場合は、「〇〇関連の仕事」という回答でも構わないことを示した。
- 両項目とも自由回答形式のため、集計では職業を約150種、理由を30種に分類した。職業については、全体傾向を把握するため20種の「しごと系統」でも分類した。

### アンケート概要

- 回答者数  
2005年：650人（男子160人、女子490人）  
2006年：883人（男子333人、女子550人）
- 対象  
全国の高校2年生
- 実施方法  
情報誌に返信用のアンケートハガキを添付した。

## ■アンケート集計結果・Part 1

### ○回答者属性

#### 性別

	2005		2006	
	人数	比率	人数	比率
男子	160	24.6%	333	37.7%
女子	490	75.4%	550	62.3%
計	650	100.0%	883	100.0%

#### 希望する進路

	2005				2006			
	第1希望		第2希望		第1希望		第2希望	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
国公立大学	235	36.5%	51	8.3%	350	40.1%	90	10.9%
私立大学	155	24.1%	197	32.1%	218	25.0%	264	31.9%
国公立短期大学	13	2.0%	27	4.4%	11	1.3%	42	5.1%
私立短期大学	29	4.5%	65	10.6%	46	5.3%	66	8.0%
専門学校・各種学校	154	23.9%	131	21.3%	170	19.5%	172	20.8%
就職	44	6.8%	66	10.7%	51	5.8%	80	9.7%
留学	4	0.6%	20	3.3%	7	0.8%	39	4.7%
未定	10	1.6%	57	9.3%	19	2.2%	74	8.9%
計	644	100.0%	614	100.0%	872	100.0%	827	100.0%

両調査とも女子の回答が多く、約7割を占めている。

情報誌が大学・短期大学・専門学校を網羅した内容であるため、希望進路は多岐にわたっている。



### ○興味を持った学習系統

興味を持った学習系統を尋ねた。系統は弊社で設定。下表のように、大学・短大で学べる20系統、専門学校で学べる20系統の計40種からなる。

#### 学習系統一覧

##### 大学・短大で学べる20系統

文学・文化・歴史
心理学・人間科学
語学・コミュニケーション
学校教員・幼稚園教諭・保育士育成
体育・スポーツ・健康
法律・政治・行政
経済・経営・商学・観光
社会学・国際・マスコミ
情報・メディア
理学
工学
理工
地球・環境・生命
農林水産・獣医畜産
医療・保健
薬学
福祉
芸術
家政・生活科学
食物・栄養

##### 専門学校で学べる20系統

経理・会計・営業
公務員・警察・消防・郵政
トラベル・ホテル・レジャー
コンピュータ・情報処理
ゲーム・アニメ・コンピュータグラフィックス
自動車・航空・船舶
機械・電気・電子・エンジニア
建築・土木・測量
医療
医療事務・病院スタッフ
子ども・教育
福祉
スポーツ・健康
動物
バイオ・植物・環境
理容・美容・メイク・エステ
栄養・調理・製菓
美術・デザイン・写真・マンガ
マスコミ・音楽・映画・声優
ファッション

次ページに掲げた表は2006年を基準に多い順に並べたもの。志向は男女で大きく異なる。男子の1位の「工学」は女子のランクだと21位、2位の「法律・政治・行政」は17位に過ぎない。逆に、女子が上位に挙げる系統の多くは、男子においてもある程度の人気を有する。

2005年と比較すると、男子においては「工学」「法律・政治・行政」「経済・経営・商学・観光」が伸び、「学校教員・幼稚園教諭・保育士育成」「医療・保健」が減った。女子ではこうした傾向が見られず、逆に「経済・経営・商学・観光」で減少、「学校教員・幼稚園教諭・保育士育成」「医療・保健」で増加という結果が表れた。男女ともに伸びが確認されのは「心理学・人間科学」だけだった。

こうした結果を見ると、男子については景気回復のもと、資格指向は弱くなっている。一方、女子については景気の影響はそれほど受けず、むしろ資格指向は強くなっていると考えられる。

最も興味を持った学習系統

※大学・短大進学希望者用の20系統、専門学校進学希望者用の20系統の計40系統から選択させた

系統は弊社媒体で使用している系統と同じもの

(大)は大学・短大で学ぶ系統、(専)は専門学校で学ぶ系統

男子

女子

系統名	2005		2006		系統名	2005		2006	
	比率	比率	順位	比率		比率	順位		
(大)工学	10.6%	12.9%	1位	(大)学校教員・幼稚園教諭・保育士育成	11.8%	12.2%	1位		
(大)法律・政治・行政	7.5%	9.3%	2位	(大)医療・保健	7.6%	9.3%	2位		
(大)経済・経営・商学・観光	5.6%	8.4%	3位	(大)語学・コミュニケーション	7.8%	7.6%	3位		
(大)学校教員・幼稚園教諭・保育士育成	9.4%	8.1%	4位	(大)芸術	5.3%	5.3%	4位		
(大)医療・保健	10.0%	6.0%	5位	(大)文学・文化・歴史	4.3%	5.3%	4位		
(大)体育・スポーツ・健康	5.6%	5.7%	6位	(専)マスコミ・音楽・映画・声優	4.7%	4.7%	6位		
(大)情報・メディア	5.0%	5.4%	7位	(大)心理学・人間科学	2.0%	4.2%	7位		
(大)語学・コミュニケーション	0.0%	3.0%	8位	(大)福祉	2.4%	3.6%	8位		
(大)芸術	3.1%	3.0%	8位	(大)経済・経営・商学・観光	3.9%	3.5%	9位		
(大)心理学・人間科学	0.6%	3.0%	8位	(大)食物・栄養	4.5%	3.5%	9位		
(専)マスコミ・音楽・映画・声優	3.8%	2.7%	11位	(専)理容・美容・メイク・エステ	3.9%	3.3%	11位		
(大)地球・環境・生命	0.6%	2.7%	11位	(専)栄養・調理・製菓	3.5%	3.3%	11位		
(大)文学・文化・歴史	5.6%	2.4%	13位	(大)社会学・国際・マスコミ	3.7%	2.9%	13位		
(大)理工	4.4%	2.4%	13位	(大)体育・スポーツ・健康	1.8%	2.4%	14位		
(専)スポーツ・健康	2.5%	2.4%	13位	(大)薬学	2.4%	2.4%	14位		
(大)社会学・国際・マスコミ	0.6%	2.1%	16位	(専)動物	2.0%	2.4%	14位		
(専)公務員・警察・消防・郵政	1.3%	2.1%	16位	(大)法律・政治・行政	2.7%	2.2%	17位		
(大)福祉	2.5%	1.8%	18位	(大)家政・生活科学	1.2%	2.2%	17位		
(専)自動車・航空・船舶	3.1%	1.8%	18位	(専)医療	3.7%	2.0%	19位		
(大)理学	1.9%	1.8%	18位	(大)農林水産・獣医畜産	2.0%	1.8%	20位		
(大)農林水産・獣医畜産	4.4%	1.5%	21位	(大)工学	1.6%	1.6%	21位		
(大)薬学	0.6%	1.5%	21位	(大)情報・メディア	0.8%	1.6%	21位		
(大)食物・栄養	1.3%	1.2%	23位	(専)美術・デザイン・写真・マンガ	2.2%	1.3%	23位		
(専)動物	1.3%	1.2%	23位	(専)トラベル・ホテル・レジャー	1.8%	1.3%	23位		
(専)コンピュータ・情報処理	0.6%	1.2%	23位	(専)医療事務・病院スタッフ	1.4%	1.3%	23位		
(専)ゲーム・アニメ・コンピュータグラフィックス	1.3%	1.2%	23位	(専)ファッション	1.2%	1.3%	23位		
(専)理容・美容・メイク・エステ	0.0%	0.9%	28位	(大)地球・環境・生命	0.8%	0.9%	27位		
(専)栄養・調理・製菓	1.3%	0.9%	28位	(大)理学	0.2%	0.9%	27位		
(専)美術・デザイン・写真・マンガ	0.6%	0.9%	28位	(専)ゲーム・アニメ・コンピュータグラフィックス	0.2%	0.9%	27位		
(専)機械・電気・電子・エンジニア	0.6%	0.6%	31位	(専)公務員・警察・消防・郵政	0.8%	0.7%	30位		
(大)家政・生活科学	0.6%	0.3%	32位	(専)子ども・教育	0.8%	0.7%	30位		
(専)子ども・教育	0.6%	0.3%	32位	(専)福祉	2.4%	0.7%	30位		
(専)医療	1.9%	0.0%	—	(大)理工	0.6%	0.5%	34位		
(専)福祉	0.0%	0.0%	—	(専)スポーツ・健康	1.2%	0.5%	34位		
(専)トラベル・ホテル・レジャー	0.6%	0.0%	—	(専)コンピュータ・情報処理	0.4%	0.4%	36位		
(専)医療事務・病院スタッフ	0.0%	0.0%	—	(専)経理・会計・営業	0.6%	0.4%	36位		
(専)ファッション	0.0%	0.0%	—	(専)バイオ・植物・環境	0.2%	0.2%	38位		
(専)経理・会計・営業	0.0%	0.0%	—	(専)自動車・航空・船舶	0.2%	0.0%	—		
(専)バイオ・植物・環境	0.0%	0.0%	—	(専)機械・電気・電子・エンジニア	0.0%	0.0%	—		
(専)建築・土木・測量	0.0%	0.0%	—	(専)建築・土木・測量	0.0%	0.0%	—		
無回答	0.6%	1.2%	—	無回答	1.0%	0.7%	—		
全体	100.0%	100.0%		全体	100.0%	100.0%			

## ■アンケート集計結果・Part 2

### (1) 「職業ランキング」

高校生が希望する職業を集計した。表では、男女、男子、女子それぞれの1%以上の回答が得られた職業を記載。順位は2006年の数字に基づく。人数と比率のほか、2005年との比率差、後述する「しごと系統」も掲げた。

男子は公務員および教師が8%台で、3位以下を引き離している。女子は保育士・幼稚園教諭だけが8%台で、看護師6.0%、教師4.9%と続く。男子、女子各5位までのうち、共通して出てくるのは教師だけである。

2006年職業ランキング 男女 ※比率1%以上のみ記載、男女差は「男子の比率－女子の比率」

順位	職業名	該当する「しごと系統」	人数	比率	05との差	男女差
1位	教師	子どもと教育に携わる仕事	55	6.2%	-0.1%	3.5%
2位	保育士・幼稚園教諭	子どもと教育に携わる仕事	54	6.1%	-0.7%	-6.9%
3位	看護師	医療	36	4.1%	0.1%	-5.1%
4位	公務員	公務員・警察・消防・郵政	34	3.9%	0.0%	7.8%
5位	薬剤師	医療	18	2.0%	0.3%	0.6%
5位	美容師	理容・美容・メイク・エステ	18	2.0%	0.7%	-0.4%
7位	法律家	公務員・警察・消防・郵政	17	1.9%	0.7%	3.2%
7位	パティシエ(製菓技術者)	栄養・調理・製菓	17	1.9%	-0.4%	-2.6%
9位	建築士	建築・土木・測量	14	1.6%	0.5%	2.3%
10位	理学療法士	医療	12	1.4%	0.0%	1.7%
10位	警察官	公務員・警察・消防・郵政	12	1.4%	0.3%	1.2%
10位	介護福祉士(ケアワーカー)	福祉	12	1.4%	0.0%	-1.2%
10位	ミュージシャン	マスコミ・音楽・映像・声優	12	1.4%	0.4%	0.2%
10位	ブライダルコーディネーター	トラベル・ホテル・レジャー・エアライン・語学	12	1.4%	1.2%	-2.2%
15位	学者・研究者	子どもと教育に携わる仕事	11	1.2%	-1.1%	0.9%
16位	臨床心理士	福祉	10	1.1%	0.1%	-1.3%
16位	客室乗務員(フライトアテンダント)	トラベル・ホテル・レジャー・エアライン・語学	10	1.1%	-1.0%	-1.8%
16位	栄養士・管理栄養士	栄養・調理・製菓	10	1.1%	-1.2%	-1.3%
16位	アナウンサー・司会者	マスコミ・音楽・映像・声優	10	1.1%	0.4%	-0.4%
20位	自動車整備士(自動車エンジニア)	自動車・航空・船舶	9	1.0%	0.3%	2.7%
20位	医師	医療	9	1.0%	-1.4%	0.3%
	総計		883	100.0%	0.0%	0.0%

2006年職業ランキング 男子 ※比率1%以上のみ記載

順位	職業名	該当する「しごと系統」	人数	比率	05との差
1位	公務員	公務員・警察・消防・郵政	29	8.7%	2.5%
2位	教師	子どもと教育に携わる仕事	28	8.4%	0.9%
3位	法律家	公務員・警察・消防・郵政	13	3.9%	2.7%
4位	建築士	建築・土木・測量	10	3.0%	2.4%
5位	自動車整備士(自動車エンジニ	自動車・航空・船舶	9	2.7%	-0.4%
6位	理学療法士	医療	8	2.4%	-0.1%
6位	薬剤師	医療	8	2.4%	1.8%
8位	警察官	公務員・警察・消防・郵政	7	2.1%	0.9%
9位	保育士・幼稚園教諭	子どもと教育に携わる仕事	6	1.8%	-1.3%
9位	美容師	理容・美容・メイク・エステ	6	1.8%	0.6%
9位	消防士	公務員・警察・消防・郵政	6	1.8%	-1.3%
9位	学者・研究者	子どもと教育に携わる仕事	6	1.8%	-3.2%
13位	ミュージシャン	マスコミ・音楽・映像・声優	5	1.5%	-0.4%
14位	医師	医療	4	1.2%	-5.0%
14位	パイロット	自動車・航空・船舶	4	1.2%	—
14位	タレント・芸人	マスコミ・音楽・映像・声優	4	1.2%	0.6%
	総計		333	100.0%	0.0%

2006年職業ランキング 女子 ※比率1%以上のみ記載

順位	職業名	該当する「しごと系統」	人数	比率	05との差
1位	保育士・幼稚園教諭	子どもと教育に携わる仕事	48	8.7%	0.8%
2位	看護師	医療	33	6.0%	0.9%
3位	教師	子どもと教育に携わる仕事	27	4.9%	-1.0%
4位	パティシエ(製菓技術者)	栄養・調理・製菓	16	2.9%	0.1%
5位	美容師	理容・美容・メイク・エステ	12	2.2%	0.8%
5位	ブライダルコーディネーター	トラベル・ホテル・レジャー・エアライ	12	2.2%	2.0%
7位	薬剤師	医療	10	1.8%	-0.2%
7位	客室乗務員(フライトアテンダン	トラベル・ホテル・レジャー・エアライ	10	1.8%	-1.0%
7位	介護福祉士(ケアワーカー)	福祉	10	1.8%	0.0%
10位	臨床心理士	福祉	9	1.6%	0.2%
10位	栄養士・管理栄養士	栄養・調理・製菓	9	1.6%	-1.2%
12位	ホテルマン・ホテルウーマン	トラベル・ホテル・レジャー・エアライ	8	1.5%	0.8%
13位	医療保険事務スタッフ	医療事務・病院スタッフ	7	1.3%	0.7%
13位	ミュージシャン	マスコミ・音楽・映像・声優	7	1.3%	0.7%
13位	アナウンサー・司会者	マスコミ・音楽・映像・声優	7	1.3%	0.3%
16位	インテリアコーディネーター	建築・土木・測量	6	1.1%	1.1%
	総計		550	100.0%	0.0%

(2) 「しごと系統ランキング」とは

「職業ランキング」では、高校生が関心を持つ方向、資格指向の強さなど、全体的な把握は難しい。また、「〇〇関係の仕事」というような職業名が明示されていない回答は、「その他」として扱われ、ランキングの対象外になった。そこで、弊社では、各職業を20種類からなる「しごと系統」に分類。そのランキングおよび考察を試みた。系統名は前掲した「専門学校で学べる20系統」と同じである。

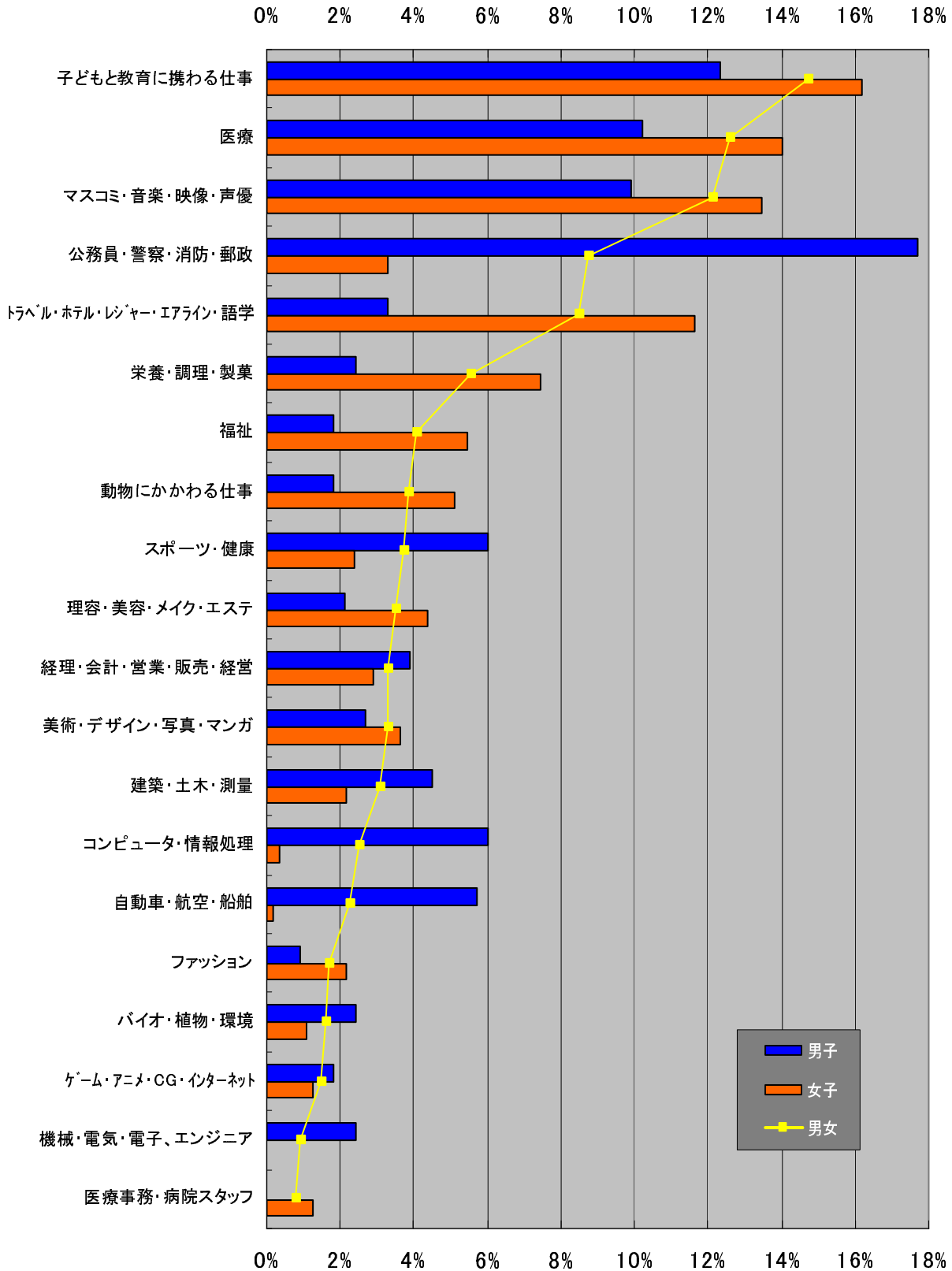
「〇〇関係の仕事」という職業名なしの回答は、全て各系統に振り分けて集計。表では、「その他：航空」「その他：マスコミ」などとして掲げた。

グラフは、折れ線グラフが男女合算の数値、棒グラフが男女それぞれの数値を表している。女子は教育・医療系志向、男子は公務員・スポーツ・理工系志向を示すように男女の差は著しい。特に、「公務員・警察・消防・郵政」と「トラベル・ホテル・レジャー・エアライン・語学」は対照的な結果が出た。

順位	しごと系統	人数	比率				05 との		
			男女	男女	男子	女子	男女	男子	女子
1位	子どもと教育に携わる仕事	130	14.7%	12.3%	16.2%	-1.3%	-3.9%	0.3%	
2位	医療	111	12.6%	10.2%	14.0%	-1.6%	-4.2%	-0.1%	
3位	マスコミ・音楽・映像・声優	107	12.1%	9.9%	13.5%	1.8%	2.4%	2.2%	
4位	公務員・警察・消防・郵政	77	8.7%	17.7%	3.3%	1.0%	3.3%	-2.2%	
5位	トラベル・ホテル・レジャー・エアライン・	75	8.5%	3.3%	11.6%	0.0%	0.2%	1.4%	
6位	栄養・調理・製菓	49	5.5%	2.4%	7.5%	-1.4%	-0.1%	-0.9%	
7位	福祉	36	4.1%	1.8%	5.5%	-1.3%	-0.7%	-0.9%	
8位	動物にかかわる仕事	34	3.9%	1.8%	5.1%	-0.1%	-0.1%	0.4%	
9位	スポーツ・健康	33	3.7%	6.0%	2.4%	0.5%	0.4%	-0.1%	
10位	理容・美容・メイク・エステ	31	3.5%	2.1%	4.4%	-0.5%	0.9%	-0.5%	
11位	経理・会計・営業・販売・経営	29	3.3%	3.9%	2.9%	0.4%	0.8%	0.1%	
11位	美術・デザイン・写真・マンガ	29	3.3%	2.7%	3.6%	-1.5%	0.2%	-1.9%	
13位	建築・土木・測量	27	3.1%	4.5%	2.2%	1.5%	3.3%	0.5%	
14位	コンピュータ・情報処理	22	2.5%	6.0%	0.4%	0.6%	1.6%	-0.7%	
15位	自動車・航空・船舶	20	2.3%	5.7%	0.2%	0.9%	0.7%	0.0%	
16位	ファッション	15	1.7%	0.9%	2.2%	0.2%	0.9%	0.1%	
17位	バイオ・植物・環境	14	1.6%	2.4%	1.1%	0.4%	-0.1%	0.3%	
18位	ゲーム・アニメ・CG・インターネット	13	1.5%	1.8%	1.3%	1.0%	0.6%	1.1%	
19位	機械・電気・電子・エンジニア	8	0.9%	2.4%	0.0%	-1.1%	-5.7%	0.0%	
20位	医療事務・病院スタッフ	7	0.8%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.3%	
—	無回答	16	1.8%	2.1%	1.6%	0.4%	-0.4%	0.6%	
	総計	883	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	



2006年 しごと系統ランキング(全20系統)



(3) 「しごと系統ランキング」順位ごとの解説

第1位 子どもと教育に携わる仕事

職業名	男女			男子			女子		
	人数	比率	05との	人数	比率	05との	人数	比率	05との
教師	55	6.2%	-0.1%	28	8.4%	0.9%	27	4.9%	-1.0%
保育士・幼稚園教諭	54	6.1%	-0.7%	6	1.8%	-1.3%	48	8.7%	0.8%
学者・研究者	11	1.2%	-1.1%	6	1.8%	-3.2%	5	0.9%	-0.5%
図書館司書	4	0.5%	0.0%	1	0.3%	-0.3%	3	0.5%	0.1%
児童福祉士	3	0.3%	—		0.0%	—	3	0.5%	—
学芸員(キュレーター)	3	0.3%	0.2%		0.0%	0.0%	3	0.5%	0.3%
総計	130	14.7%	-1.3%	41	12.3%	-3.9%	89	16.2%	0.3%

20系統中、最も多かったのは「子どもと教育に携わる仕事」だった。

職種別・男女別に見ると、男子は教師が増加、保育士・幼稚園教諭が減少、女子は教師が減少、保育士・幼稚園教諭が増加という正反対の結果になっている。

教師の活躍の場は小学校から高校まで幅広いが、55人中5人が小学校教師を希望。一方で、中学校や高校限定で希望する者はほとんどいなかった。14人が特定教科の教師を希望したが、教科名は分散した。また、集計上では、保育士と幼稚園教諭を合算しているが、回答者の9割が保育士を志望していた。

理由ランキングを見ると、女子の半数以上が「子どもとかかわりたい」を挙げた。男子ではそうした回答は1/4程度に過ぎず、「人・社会の役に立ちたい」「やりがいがありそう」などさまざまな理由が挙がっている。

回答用紙には、「虐待をなくす」「いじめをなくす」のように今日的な問題解決に使命感を見出したもの、「自分の幼稚園の先生が優しくて大好きだったから自分もなりたい」「憧れている先生に近づけるようになりたい」など恩師への尊敬を込めた内容も見受けられた。これらの記述は当系統ならではといえよう。

理由	男女	男子	女子
子どもとかかわりたい	42.3%	24.4%	50.6%
好き	11.5%	9.8%	12.4%
興味・関心がある	10.0%	7.3%	11.2%
夢・憧れ	9.2%	9.8%	9.0%
人に教えたい	5.4%	4.9%	5.6%
人・社会の役に立ちたい	4.6%	7.3%	3.4%
得意・趣味を生かしたい	2.3%	2.4%	2.2%
おもしろそう・楽しそう	2.3%	2.4%	2.2%
やりがいがありそう	2.3%	4.9%	1.1%
いろいろな人と出会える	0.8%	2.4%	0.0%
感動を与えたい	0.8%	2.4%	0.0%
(その仕事の)世界にかかわりたい	0.8%	2.4%	0.0%
自分の力を試したい	0.8%	2.4%	0.0%
収入・生活を重視して	0.8%	2.4%	0.0%
物作りがしたい	0.8%	2.4%	0.0%
親や親戚の影響で	0.8%	2.4%	0.0%
無回答・特になし	3.8%	9.8%	1.1%
その他	0.8%	0.0%	1.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

## 第2位 医療

職業名	男女			男子			女子		
	人数	比率	05との	人数	比率	05との	人数	比率	05との
看護師	36	4.1%	0.1%	3	0.9%	0.3%	33	6.0%	0.9%
薬剤師	18	2.0%	0.3%	8	2.4%	1.8%	10	1.8%	-0.2%
理学療法士	12	1.4%	0.0%	8	2.4%	-0.1%	4	0.7%	-0.3%
医師	9	1.0%	-1.4%	4	1.2%	-5.0%	5	0.9%	-0.3%
歯科衛生士	5	0.6%	0.4%		0.0%	0.0%	5	0.9%	0.7%
助産師	3	0.3%	0.2%		0.0%	0.0%	3	0.5%	0.3%
あん摩マッサージ指圧師	2	0.2%	—		0.0%	—	2	0.4%	—
臨床工学技士	2	0.2%	0.1%	1	0.3%	0.3%	1	0.2%	0.0%
臨床検査技師	2	0.2%	-0.1%	1	0.3%	-0.3%	1	0.2%	0.0%
作業療法士	1	0.1%	-0.5%		0.0%	0.0%	1	0.2%	-0.6%
柔道整復師	1	0.1%	0.0%	1	0.3%	0.3%		0.0%	-0.2%
歯科技工士	1	0.1%	-0.2%	1	0.3%	-0.3%		0.0%	-0.2%
歯科医師	1	0.1%	0.0%	1	0.3%	-0.3%		0.0%	0.0%
その他:医療	18	2.0%	-0.1%	6	1.8%	-0.1%	12	2.2%	-0.1%
総計	111	12.6%	-1.6%	34	10.2%	-4.2%	77	14.0%	-0.1%

「医療」も人気の高い系統だが、1位の「子どもと教育に携わる仕事」よりも志望者は減少し、1.6ポイントの減少となった。こちらでも、男子が女子より減少している。

注目されるのは、医師人気の低下。男子で5.0ポイント下がっているが、これは男子が挙げた全職業のうち2番目の下げ幅となった。女子でも0.3ポイント低下した。看護師は女子人気根強く、0.9ポイント伸ばしている。また、薬剤師は、男子が1.8ポイント増加、女子が0.2ポイント減少という逆の結果が出ている。

理由ランキングでは、男女とも「人・社会の役に立ちたい」が1位になっている。

とりわけ男子は半数以上に上る。2位以下10～20%台で、「興味・関心がある」「夢・憧れ」が続く。なお、女子は9.1%が「やりがいがありそう」を挙げているが、男子は皆無だった。

この系統では、個人的体験に基づく理由が挙がる。「薬のお世話になって、薬局で働く薬剤師の人たちをいっぱい見てあこがれたから」「何度もけがをした、私みたいな人を助けてあげたい」などがそうである。

理由	男女	男子	女子
人・社会の役に立ちたい	40.5%	52.9%	35.1%
興味・関心がある	14.4%	20.6%	11.7%
夢・憧れ	13.5%	14.7%	13.0%
やりがいがありそう	6.3%	0.0%	9.1%
収入・生活を重視して	4.5%	0.0%	6.5%
いろいろな人と出会う	1.8%	2.9%	1.3%
役立つ技術を身につけられる	1.8%	0.0%	2.6%
カッコいい・素敵	1.8%	0.0%	2.6%
研究・発見・開発がしたい	1.8%	2.9%	1.3%
子どもとかかわりたい	0.9%	0.0%	1.3%
(その仕事の)世界にかかわりたい	0.9%	0.0%	1.3%
自分に向いている	0.9%	2.9%	0.0%
ニーズが多い・今後増える	0.9%	0.0%	1.3%
おもしろそう・楽しそう	0.9%	0.0%	1.3%
好き	0.9%	0.0%	1.3%
親や親戚の影響で	0.9%	0.0%	1.3%
無回答・特になし	6.3%	0.0%	9.1%
その他	0.9%	2.9%	0.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

第3位 マスコミ・音楽・映像・声優

ジャン	職業名	男女			男子			女子		
		人数	比率	05との	人数	比率	05との	人数	比率	05との
音楽	ミュージシャン	12	1.4%	0.4%	5	1.5%	-0.4%	7	1.3%	0.7%
テレビ	アナウンサー・司会者	10	1.1%	0.4%	3	0.9%	0.9%	7	1.3%	0.3%
テレビ	声優	6	0.7%	-0.9%	3	0.9%	-1.0%	3	0.5%	-0.9%
他	雑誌編集者・記者	5	0.6%	-0.4%		0.0%	0.0%	5	0.9%	-0.3%
テレビ	CMプランナー	5	0.6%	—	1	0.3%	—	4	0.7%	—
テレビ	俳優	4	0.5%	-0.3%		0.0%	0.0%	4	0.7%	-0.3%
音楽	歌手(ヴォーカリスト)	4	0.5%	-0.2%		0.0%	-0.6%	4	0.7%	0.1%
テレビ	タレント・芸人	4	0.5%	0.3%	4	1.2%	0.6%		0.0%	0.0%
テレビ	映像ディレクター	2	0.2%	—		0.0%	—	2	0.4%	—
テレビ	映像カメラマン	2	0.2%	—		0.0%	—	2	0.4%	—
音楽	コンサートプロモーター	2	0.2%	0.1%		0.0%	0.0%	2	0.4%	0.2%
音楽	音楽プロデューサー	2	0.2%	0.1%	1	0.3%	-0.3%	1	0.2%	0.2%
テレビ	プロデューサー	2	0.2%	—	1	0.3%	—	1	0.2%	—
テレビ	放送作家	1	0.1%	—		0.0%	—	1	0.2%	—
音楽	調律師	1	0.1%	—		0.0%	—	1	0.2%	—
テレビ	芸能マネージャー	1	0.1%	0.0%		0.0%	0.0%	1	0.2%	0.0%
テレビ	脚本家・シナリオライター	1	0.1%	—		0.0%	—	1	0.2%	—
音楽	ローディー	1	0.1%	—		0.0%	—	1	0.2%	—
他	ダンスインストラクター	1	0.1%	—		0.0%	—	1	0.2%	—
他	ダンサー	1	0.1%	0.0%		0.0%	0.0%	1	0.2%	0.0%
音楽	サウンドエンジニア(音響)	1	0.1%	-0.2%		0.0%	0.0%	1	0.2%	-0.2%
音楽	楽器リペア・クラフトマン	1	0.1%	—	1	0.3%	—		0.0%	—
音楽	その他:音楽	25	2.8%	1.6%	7	2.1%	1.5%	18	3.3%	1.8%
テレビ	その他:テレビ	10	1.1%	-0.1%	6	1.8%	1.8%	4	0.7%	-0.9%
他	その他:映画	3	0.3%	0.2%	1	0.3%	0.3%	2	0.4%	0.2%
	総計	107	12.1%	1.8%	33	9.9%	2.4%	74	13.5%	2.2%

男子、女子とも人気が高まった。

「職種」を挙げる回答者は他の系統よりも少なく、「〇〇関連の仕事」と記す回答（集計上は「その他：〇〇」）が男子4.2%、女子4.4%にも上る。職種決定の段階に至らず、方向性を示した段階である回答者、および漠然としたあこがれを持つ回答者が多いことがわかる。

男女ともミュージシャンが1位。表の右列に掲げたジャンル分けに基づき、音楽にかかわる職種全てを合算すると、男子4.2%、女子6.5%となる。一方、男子2位はタレント・芸人、女子の同着1位はアナウンサー・司会者。こうしたテレビ関係全てを合算すると、男子5.4%、女子5.5%となる。

志望理由としては「好き」を挙げる割合が高く、男子の3割、女子の2割が該当する。2位以下、「おもしろそう・楽しそう」「興味・関心がある」が続く。「人の心を動かしたいから」「お笑いの仕事で、みんなを笑わせ少しでも平和になれば良いなと思うから」といった記述もあった。

理由	男女	男子	女子
好き	29.0%	39.4%	24.3%
おもしろそう・楽しそう	12.1%	12.1%	12.2%
興味・関心がある	11.2%	6.1%	13.5%
得意・趣味を生かしたい	7.5%	0.0%	10.8%
物作りがしたい	5.6%	3.0%	6.8%
夢・憧れ	5.6%	6.1%	5.4%
感動を与えたい	4.7%	3.0%	5.4%
自分を表現したい	4.7%	3.0%	5.4%
自分の力を試したい	2.8%	9.1%	0.0%
人・社会の役に立ちたい	1.9%	3.0%	1.4%
人に教えたい	1.9%	3.0%	1.4%
(その仕事の)世界にかかわりたい	1.9%	3.0%	1.4%
人に好かれたい・憧れられたい	1.9%	0.0%	2.7%
人を喜ばせたい	0.9%	3.0%	0.0%
外国・外国人とかかわりたい	0.9%	0.0%	1.4%
自分が成長できそう	0.9%	0.0%	1.4%
自分に向いている	0.9%	0.0%	1.4%
収入・生活を重視して	0.9%	3.0%	0.0%
かっこいい・素敵	0.9%	0.0%	1.4%
無回答・特になし	1.9%	0.0%	2.7%
その他	1.9%	3.0%	1.4%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

第4位 公務員・警察・消防・郵政

職業名	男女			男子			女子		
	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差
公務員	34	3.9%	0.0%	29	8.7%	2.5%	5	0.9%	-2.2%
法律家	17	1.9%	0.7%	13	3.9%	2.7%	4	0.7%	-0.5%
警察官	12	1.4%	0.3%	7	2.1%	0.9%	5	0.9%	-0.1%
消防士	7	0.8%	0.0%	6	1.8%	-1.3%	1	0.2%	0.2%
外交官	2	0.2%	—		0.0%	—	2	0.4%	—
政治家	2	0.2%	—	2	0.6%	—		0.0%	—
郵政職員	1	0.1%	0.0%		0.0%	-0.6%	1	0.2%	0.2%
自衛官	1	0.1%	-0.2%	1	0.3%	-0.3%		0.0%	-0.2%
海上保安官	1	0.1%	—	1	0.3%	—		0.0%	—
総計	77	8.7%	1.0%	59	17.7%	3.3%	18	3.3%	-2.2%

男女で大きく差が付いた。元もと男子の人気が高い系統だったが、その人気はさらに高まり、逆に女子の人気は低くなった。なお、回答では単に「公務員」と記したものがほとんどで、国家公務員と地方公務員の区別はほとんどなされなかった。また、法律家には弁護士、検事、裁判官を含むが、内訳は弁護士9、検事3、裁判官1で、単に法律家になりたいという回答が4となっている。

志望理由に男女差はなく、「人・社会の役に立ちたい」を挙げた回答者が最多で3割。「収入・生活を重視して」を挙げた回答者が2割に上るが、この多さは他系統では見られなかった。

理由	男女	男子	女子
人・社会の役に立ちたい	35.1%	33.9%	38.9%
収入・生活を重視して	23.4%	23.7%	22.2%
興味・関心がある	7.8%	6.8%	11.1%
夢・憧れ	5.2%	5.1%	5.6%
やりがいがありそう	3.9%	3.4%	5.6%
自分に向いている	2.6%	3.4%	0.0%
カッコいい・素敵	2.6%	3.4%	0.0%
好き	2.6%	3.4%	0.0%
外国・外国人とかかわりたい	1.3%	0.0%	5.6%
(その仕事の)世界にかかわりたい	1.3%	1.7%	0.0%
ニーズが多い・今後増える	1.3%	1.7%	0.0%
親や親戚の影響で	1.3%	1.7%	0.0%
無回答・特になし	3.9%	3.4%	5.6%
その他	7.8%	8.5%	5.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

第5位 トラベル・ホテル・レジャー・エアライン・語学

職業名	男女			男子			女子		
	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差
ブライダルコーディネーター	12	1.4%	1.2%		0.0%	0.0%	12	2.2%	2.0%
客室乗務員(フライトアテンダ	10	1.1%	-1.0%		0.0%	0.0%	10	1.8%	-1.0%
ホテルマン・ホテルウーマン	8	0.9%	0.3%		0.0%	-0.6%	8	1.5%	0.8%
通訳者	4	0.5%	0.3%	1	0.3%	0.3%	3	0.5%	0.3%
日本語教師	3	0.3%	0.0%		0.0%	0.0%	3	0.5%	0.1%
グランドスタッフ	3	0.3%	0.2%		0.0%	0.0%	3	0.5%	0.3%
ツアーコンダクター	2	0.2%	-0.2%		0.0%	0.0%	2	0.4%	-0.2%
ツアープランナー	2	0.2%	—	1	0.3%	—	1	0.2%	—
鉄道・船舶等アテンドスタッフ	1	0.1%	0.0%		0.0%	-0.6%	1	0.2%	0.2%
語学教師	1	0.1%	-0.2%		0.0%	0.0%	1	0.2%	-0.2%
イベントプランナー	1	0.1%	—		0.0%	—	1	0.2%	—
翻訳家	1	0.1%	—	1	0.3%	—		0.0%	—
運転士	1	0.1%	—	1	0.3%	—		0.0%	—
ツアーコーディネーター	1	0.1%	-0.3%	1	0.3%	0.3%		0.0%	-0.6%
セレモニーコーディネーター	1	0.1%	—	1	0.3%	—		0.0%	—
その他:語学活用	12	1.4%	0.3%	2	0.6%	0.6%	10	1.8%	0.4%
その他:国際	8	0.9%	0.1%	2	0.6%	0.0%	6	1.1%	0.3%
その他:航空	3	0.3%	-0.3%		0.0%	-1.3%	3	0.5%	0.1%
その他:観光	1	0.1%	-0.8%	1	0.3%	0.3%		0.0%	-1.2%
総計	75	8.5%	0.0%	11	3.3%	0.2%	64	11.6%	1.4%

こちらは女子人気の高い系統。上位3種は、ブライダルコーディネーター、客室乗務員(フライトアテンダント)、ホテルマン・ホテルウーマンだが、いずれも男子の志望者は皆無だった。ただし、当系統を志望する回答者は男子でも0.2%伸びている。

「その他:語学活用」が女子10人いるが、これは「何か言語(特に英語)を使った仕事」「サービス業で語学を使う仕事」などをまとめた項目。このように職種を挙げず、能力の活用を前提にした仕事を求めるケースは他では見られない。

志望理由では、「外国・外国人とかかわりたい」が最も多く、男女とも2割を占め、「かっこいい・素敵」「興味・関心がある」が続く。

理由	男女	男子	女子
外国・外国人とかかわりたい	21.3%	27.3%	20.3%
かっこいい・素敵	10.7%	9.1%	10.9%
興味・関心がある	10.7%	18.2%	9.4%
好き	9.3%	9.1%	9.4%
夢・憧れ	8.0%	9.1%	7.8%
人・社会の役に立ちたい	6.7%	9.1%	6.3%
人を喜ばせたい	6.7%	0.0%	7.8%
いろいろな人と出会える	5.3%	0.0%	6.3%
得意・趣味を生かしたい	5.3%	0.0%	6.3%
おもしろそう・楽しそう	5.3%	9.1%	4.7%
やりがいがありそう	4.0%	0.0%	4.7%
子どもとかかわりたい	1.3%	0.0%	1.6%
ニーズが多い・今後増える	1.3%	9.1%	0.0%
無回答・特になし	4.0%	0.0%	4.7%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

第6位 栄養・調理・製菓

職業名	男女			男子			女子		
	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差
パティシエ(製菓技術者)	17	1.9%	-0.4%	1	0.3%	-0.3%	16	2.9%	0.1%
栄養士・管理栄養士	10	1.1%	-1.2%	1	0.3%	-0.3%	9	1.6%	-1.2%
調理師	8	0.9%	-0.5%	3	0.9%	-0.3%	5	0.9%	-0.5%
ブランジェ(製パン技術者)	4	0.5%	—	2	0.6%	—	2	0.4%	—
食品の研究・開発・製造ス	1	0.1%	—		0.0%	—	1	0.2%	—
レストラン・飲食店経営者	1	0.1%	—		0.0%	—	1	0.2%	—
シェフ	1	0.1%	—		0.0%	—	1	0.2%	—
その他:食物	7	0.8%	-0.1%	1	0.3%	0.3%	6	1.1%	-0.1%
総計	49	5.5%	-1.4%	8	2.4%	-0.1%	41	7.5%	-0.9%

「トラベル・ホテル・レジャー・エアライン・語学」ほどではないが、こちらも女子人気が高い系統。ただし、増加した職種は女子のパティシエだけで、他の職種は男女ともに減少している。資格指向の低下はここにも表れている。

理由は「好き」「興味・関心がある」が上位に来た。回答用紙には、「ケーキは人を幸せにする。そんなケーキを自分も作ってみたい。お菓子づくりが大好きだから」「今の日本の食生活を変えたい人の役に立ちたい」といった記述も見受けられた。

理由	男女	男子	女子
好き	38.8%	25.0%	41.5%
興味・関心がある	14.3%	25.0%	12.2%
人・社会の役に立ちたい	8.2%	12.5%	7.3%
人を喜ばせたい	8.2%	0.0%	9.8%
物作りがしたい	8.2%	12.5%	7.3%
おもしろそう・楽しそう	6.1%	12.5%	4.9%
役立つ技術を身につけられる	4.1%	0.0%	4.9%
得意・趣味を生かしたい	4.1%	0.0%	4.9%
かっこいい・素敵	2.0%	0.0%	2.4%
やりがいがありそう	2.0%	0.0%	2.4%
親や親戚の影響で	2.0%	12.5%	0.0%
無回答・特になし	2.0%	0.0%	2.4%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

### 第7位 福祉

職業名	男女			男子			女子		
	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差
介護福祉士(ケアワーカー)	12	1.4%	0.0%	2	0.6%	0.6%	10	1.8%	0.0%
臨床心理士	10	1.1%	0.1%	1	0.3%	0.3%	9	1.6%	0.2%
社会福祉士(ソーシャルワーカー)	3	0.3%	-0.7%		0.0%	-1.3%	3	0.5%	-0.5%
その他:福祉	11	1.2%	-0.4%	3	0.9%	-0.3%	8	1.5%	-0.4%
総計	36	4.1%	-1.3%	6	1.8%	-0.7%	30	5.5%	-0.9%

女子の人気が高い系統。男女ともに志望者は減少しているが、一部、増加した職種もある。

女子が挙げる理由の70.0%が、「人・社会の役に立ちたい」。男子はサンプルが少ないため割り引いて考える必要があるが、女子では挙げられなかった「いろいろな人と出会える」が33.3%と最多となっている。

理由	男女	男子	女子
人・社会の役に立ちたい	61.1%	16.7%	70.0%
興味・関心がある	11.1%	16.7%	10.0%
子どもとかかわりたい	5.6%	0.0%	6.7%
いろいろな人と出会える	5.6%	33.3%	0.0%
自分を表現したい	2.8%	16.7%	0.0%
ニーズが多い・今後増える	2.8%	16.7%	0.0%
おもしろそう・楽しそう	2.8%	0.0%	3.3%
やりがいがありそう	2.8%	0.0%	3.3%
夢・憧れ	2.8%	0.0%	3.3%
無回答・特になし	2.8%	0.0%	3.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

### 第8位 動物にかかわる仕事

職業名	男女			男子			女子		
	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差
獣医師	5	0.6%	-0.5%	2	0.6%	0.0%	3	0.5%	-0.7%
トリマー・グルーマー	4	0.5%	-0.3%		0.0%	-0.6%	4	0.7%	-0.1%
動物看護師	3	0.3%	-0.3%		0.0%	0.0%	3	0.5%	-0.3%
ペットショップスタッフ	1	0.1%	—		0.0%	—	1	0.2%	—
動物テーマパークスタッフ	1	0.1%	-0.2%	1	0.3%	0.3%		0.0%	-0.4%
その他:動物	20	2.3%	1.3%	3	0.9%	0.3%	17	3.1%	2.1%
総計	34	3.9%	-0.1%	6	1.8%	-0.1%	28	5.1%	0.4%

男子は0.1ポイント減少、女子は0.4%増加と、男女で異なる結果となった。職種名を挙げた回答は少なく、全部合わせても1.6%。逆に動物関連の仕事（表中では「その他：動物」）として職種を決めていない回答が2.3%に上る。

なお、34人中、8人が犬関係、2人が猫関係の仕事を希望している。

理由は「好き」が大部分だった。

理由	男女	男子	女子
好き	82.4%	100.0%	78.6%
人・社会の役に立ちたい	5.9%	0.0%	7.1%
夢・憧れ	5.9%	0.0%	7.1%
おもしろそう・楽しそう	2.9%	0.0%	3.6%
やりがいがありそう	2.9%	0.0%	3.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

第9位 スポーツ・健康

職業名	男女			男子			女子		
	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差
スポーツトレーナー	6	0.7%	0.2%	3	0.9%	0.3%	3	0.5%	0.1%
幼児・児童体育教室の先生	4	0.5%	—	1	0.3%	—	3	0.5%	—
プロスポーツ選手	2	0.2%	-0.1%	2	0.6%	0.0%		0.0%	-0.2%
スポーツジャーナリスト	1	0.1%	—		0.0%	—	1	0.2%	—
スポーツインストラクター	1	0.1%	-0.3%		0.0%	0.0%	1	0.2%	-0.4%
その他:スポーツ	19	2.2%	0.3%	14	4.2%	-0.2%	5	0.9%	-0.1%
総計	33	3.7%	0.5%	20	6.0%	0.4%	13	2.4%	-0.1%

アスリート志望者は0.2%に過ぎない。その他の職種合計が1.4%、スポーツ関係の職業の希望者が2.2%となっている。

男女ともに、「好き」が1位の理由で、男子35.0%、女子46.2%。2位は男女で異なり、女子が「子どもとかかわりたい」であるのに対し、男子は「得意・趣味を生かしたい」となっている。

33人中、野球、サッカーともに3人ずつが、その競技に関連する仕事に就きたいと回答した。

理由	男女	男子	女子
好き	39.4%	35.0%	46.2%
子どもとかかわりたい	12.1%	5.0%	23.1%
得意・趣味を生かしたい	12.1%	20.0%	0.0%
(その仕事の)世界にかかわりたい	9.1%	10.0%	7.7%
興味・関心がある	9.1%	5.0%	15.4%
人・社会の役に立ちたい	6.1%	10.0%	0.0%
役立つ技術を身につけられる	3.0%	5.0%	0.0%
自分の力を試したい	3.0%	5.0%	0.0%
夢・憧れ	3.0%	5.0%	0.0%
その他	3.0%	0.0%	7.7%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

第10位 理容・美容・メイク・エステ

職業名	男女			男子			女子		
	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差	人数	比率	05との差
美容師	18	2.0%	0.7%	6	1.8%	0.6%	12	2.2%	0.8%
ヘアメイクアーティスト	5	0.6%	0.4%	1	0.3%	0.3%	4	0.7%	0.5%
エステティシャン	2	0.2%	-0.2%		0.0%	0.0%	2	0.4%	-0.2%
メイクアップアーティスト	1	0.1%	-0.7%		0.0%	0.0%	1	0.2%	-0.8%
ブライダルヘアメイクアーティスト	1	0.1%	—		0.0%	—	1	0.2%	—
ネイルアーティスト(ネイリス)	1	0.1%	0.0%		0.0%	0.0%	1	0.2%	0.0%
その他:美容・メイク	3	0.3%	-0.3%		0.0%	0.0%	3	0.5%	-0.3%
総計	31	3.5%	-0.5%	7	2.1%	0.9%	24	4.4%	-0.5%

男子は0.9%の伸びが見られたが、大多数を占める女子が0.5%ダウンしたので、全体としても0.5%ダウン。ただし、美容師は例外で、男子で0.6%、女子で0.8%伸びた。

男女とも「好き」が1位の理由だった。また、女子に限られるが「人をきれいにしたい」という理由もあった。

理由	男女	男子	女子
好き	32.3%	28.6%	33.3%
夢・憧れ	19.4%	28.6%	16.7%
人をきれいにしたい	12.9%	0.0%	16.7%
興味・関心がある	12.9%	0.0%	16.7%
おもしろそう・楽しそう	9.7%	14.3%	8.3%
カッコいい・素敵	6.5%	14.3%	4.2%
無回答・特になし	3.2%	0.0%	4.2%
その他	3.2%	14.3%	0.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



**2007ドリームランキング  
高校生のなりたい職業ランキング**

(2007年5月発表)  
株式会社日本ドリコム

《本内容に関する問い合わせ先》  
〒163-1070 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー35階  
株式会社日本ドリコム 企画情報室 マーケティング・データベース担当  
kikaku@n-dricom.co.jp TEL03-3345-1708